

# 女性のためのつながりサポート【北海道】

## 地域の実情と課題

・新型コロナウイルス感染症の影響などにより、孤独・孤立化し、悩みや不安を抱えている道内女性が、社会とのつながりを回復できるよう、女性のための相談支援機関の周知や寄り添い相談の実施、居場所づくりなどの支援を実施。

## 目的・目標

・孤独・孤立化し悩みや不安を抱えている女性に対し、相談窓口を周知するとともに、各地域で活動するNPO団体等の協力を得ながら、地域で様々な悩みや不安を相談できる寄り添い相談や居場所づくりを行い、孤立化した女性が社会とのつながりを回復することを目的とする。

## 事業の特徴

- ①孤独・孤立化し、相談が必要な女性に対し、アウトリーチ型の寄り添い相談を実施。
- ②新型コロナウイルス感染症の影響により、雇用状況や家庭環境の変化により、悩みを抱えている女性の居場所づくり事業を実施。
- ③様々な相談窓口を広く周知するために、カードやポスターの作成を行い、行政窓口のほか、商業施設のトイレや産婦人科等医院での周知を実施。

## 連携団体

公益財団法人北海道女性協会、市町村、社会福祉協議会、NPO等団体（女のスペースおん、DV心のケアholoholo、コミュニティワーク研究実践センター、ワーカーズコープ、くるくるネット、ウィメンズネット函館、北海道国際交流センター、こどもサポートふらの、イメル、駆け込みシェルターとかち、ウィメンズきたみ、ワークフェア、駆け込みシェルター釧路）、子ども食堂運営団体、子ども学習生活支援事業実施団体、男女平等参画関連施設、母子生活支援施設、高等学校、特別支援学校、大学等、女性のための各種相談窓口、大型商業施設、産婦人科等医院

## 事業の効果

新型コロナウイルス感染症により、大きな影響を受けている女性に対し、道の事業としてNPO等団体の女性スタッフによる寄り添い相談と居場所づくりを行ったことにより、安心して相談ができる環境を提供することができた。

- ・寄り添い相談では、来所相談が難しい女性の対応が可能となり、福祉窓口など適切な対応へつなげることができた。
- ・居場所づくりでは、同じ悩みを抱える女性とつながる機会を提供し、社会への回復につなげるきっかけとなった。

## 今後の課題

・新型コロナウイルス感染症拡大により、雇用や生活面で女性に特に大きな影響を及ぼしていた時期に女性相談として実施したことにより、どこにも相談できないと思っていた女性が相談につながったケースもあった。女性相談窓口が重要であることが再認識されたので今後も機会を通じて相談窓口の周知を図っていく。

## 事業の概要

女性のためのつながりサポート事業

### 【背景】

新型コロナウイルス感染拡大は、雇用や生活面で特に女性に深刻な影響を及ぼしていたことから、孤独・孤立し、不安や悩みを抱えている女性・女児の社会とのつながりの回復を目的とした緊急対策として、寄り添い相談及び居場所づくり事業を実施した。

公益財団法人 北海道女性協会

### 【寄り添い相談(NPO等12団体)】

孤独・孤立を抱える女性からの相談に対応し、相談者の生活範囲においてアウトリーチ型相談を実施

### 【居場所づくり(NPO等20団体)】

孤独・孤立を抱える女性に寄り添い、同じ境遇の女性同士が共感し、悩みを打ち明け、相互に支え合う場を提供

必要に応じ生理用品手交・カウンセラー派遣

### 【女性の支援・相談窓口の周知】

様々な悩みや不安を抱える女性に寄り添いながら一人ひとりの状況に応じたサポートができるよう設置されている窓口の紹介

### 【周知方法】

・相談窓口周知ポスター・カードの配布等

市町村・社会福祉協議会・NPO法人・子ども食堂運営団体・子ども学習生活支援事業実施団体・男女平等参画関連施設・母子生活支援施設・高等学校・特別支援学校・大学・短大・専修学校・女性のための各種相談窓口・大型商業施設(イオン、COOP)・産婦人科医院等